

J R 東海労働組合関西地「申」第44号
2016年6月7日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 田中 守殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

「鳥飼車両基地におけるイベント開催」に関する申し入れ

5月25日、会社のホームページによると、鳥飼車両基地内でイベント（「東海道新幹線のおしごとを学ぼう」第3弾in大阪）を開催するとプレス発表した。

7月29日（金）、30日（土）の開催日程となっているが、現在も労働組合には何ら説明はない。

昨年10月、名古屋車両所において同種イベントが開催されたが、現場社員には開催当日の朝まで説明もなく、障害事故が発生してもおかしくない状態であった。地本は会社の危険極まる対応に対して厳重に抗議し、今後予定されるイベントがある場合、事前に現場社員への説明をするように申し入れた。

しかし今回、同種イベントが開催されようとしているが、会社はその教訓を生かさず「安全最優先」をないがしろにしている。

よって以下の通り申し入れるので、早急に労使協議の場を設定すること。

記

1. 早急に現場社員に対してイベント開催の周知を行うこと。
2. イベント開催に対して、社員、一般見学者の安全確保を徹底すること。またその安全確保の対応について労働組合へ説明すること。
3. イベント開催について、社員、労働組合を無視し協力を仰がない姿勢に対し、甚だ疑問と怒りを感じる。会社の見解を明らかにすること。
4. 昨年10月の名古屋車両所での教訓を明らかにすること。
5. イベントの主催、責任者は誰か明らかにすること。
6. 今回、周知が遅れた事実について、書面で全社員へ謝罪すること。

以上